



## 国内クラウドセキュリティ市場予測を発表

**Japan, 2018年11月1日** - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、国内クラウドセキュリティ市場の2018年～2022年の予測を発表しました。

IDCでは、パブリッククラウド環境へのセキュリティ対策製品市場を国内クラウドセキュリティ市場と定義し、クラウドシングルサインオンとクラウドセキュリティゲートウェイ、その他クラウドセキュリティの3つの機能セグメントに分類し、市場規模算出 / 市場予測を行っています。2017年の国内クラウドセキュリティ市場は、前年比19.7%増の96億円でした。同市場の2017年～2022年の年間平均成長率（CAGR：Compound Annual Growth Rate）は18.0%で、市場規模（売上額ベース）は2017年の96億円から、2022年には220億円に拡大すると予測します。同市場は、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展によって、パブリッククラウドやモバイルデバイスの利用が拡大し、ITリソースがパブリッククラウド上に展開されるケースが増加することから、パブリッククラウド上のITリソースを保護する目的としてクラウドシングルサインオンやマルウェア対策への需要が引続き高く、市場を牽引していくとIDCではみています。

また、社外からのモバイルデバイスによるパブリッククラウドの利用が拡大することで、会社が利用を認めていないクラウドサービスやデバイスなどの、「シャドーIT」による情報漏洩リスクが高まることから、ユーザーの挙動分析やアプリケーションの稼働監視などを行うクラウドセキュリティゲートウェイソリューションへのニーズが高まると考えます。特に、社外から直接インターネットを利用する「ローカルブレイクアウト」によるパブリッククラウドの利用では、クラウドセキュリティゲートウェイソリューションによるセキュリティ対策が有効であり、ローカルブレイクアウトによるパブリッククラウドの利用拡大とともに、急速に需要が拡大するとIDCではみています。国内クラウドセキュリティゲートウェイ市場の2017年～2022年のCAGRは37.2%と予測します。

国内のユーザー企業が利用しているクラウドサービスは、国内のクラウドサービス事業者が展開しているサービスも多く存在します。特にクラウドアプリケーションの稼働状況や利用ユーザーの挙動、そして使用しているコンテンツを監視するクラウドセキュリティゲートウェイでは、国内で利用されているクラウドアプリケーションとの連携が必要となります。クラウドセキュリティゲートウェイソリューションを提供するサプライヤーは、国内のクラウドサービス事業者と協業し、クラウドアプリケーションとクラ

ウドセキュリティゲートウェイとの連携を拡充していくべきであると考えます。これによって、国内でのクラウドセキュリティゲートウェイの需要が拡大するとみています。

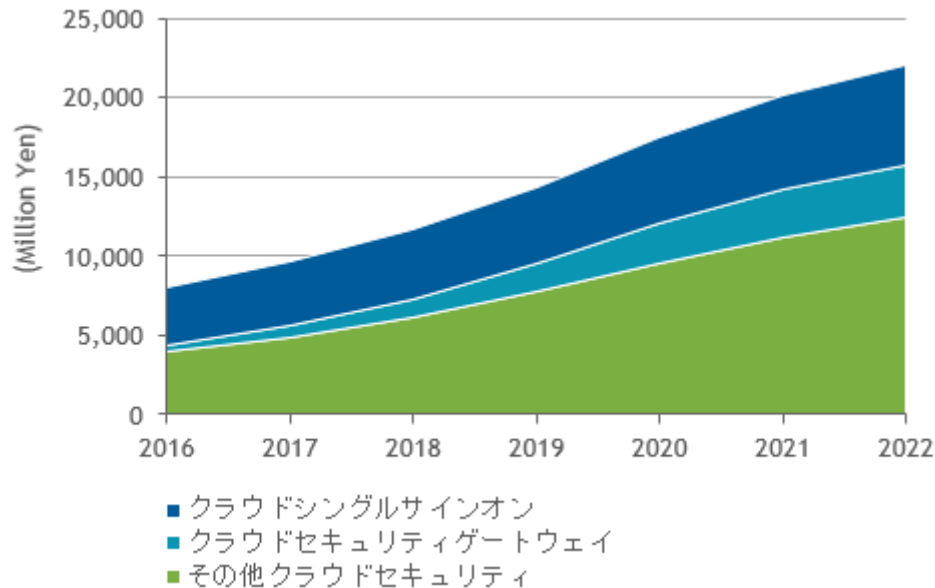
DXの進展によって、データの価値が高まっています。企業は、業務活動で使っているデータの可用性や有用性、品質、完全性などを担保するために、データの取り扱いをより明確する必要があります。パブリッククラウドサービスやモバイルデバイスの利用拡大に伴い、データの利活用は場所や時間を問わず行われます。そして、企業が許可していないパブリッククラウドサービスにデータを保存することが容易にできてしまう状況にあります。企業が許可していないパブリッククラウドサービスやモバイルデバイスなどの「シャドーIT」の利用によって、データの取り扱いが不明瞭になり、情報漏洩や改ざんのリスクが高まります。「パブリッククラウドの利用でのデータガバナンスを向上させるためには、パブリッククラウド上に展開されているデータへのアクセスコントロールやアクセスしているユーザーの挙動分析、データを扱っているアプリケーションの稼働監視などのパブリッククラウド環境に対するセキュリティソリューションが有効であるとIDCは考える。そのため、セキュリティ製品サプライヤーは、パブリッククラウド利用におけるセキュリティの強化だけでなく、データガバナンスの向上対策としてもクラウドセキュリティソリューションを訴求すべきである」とIDC Japan ソフトウェア & セキュリティ リサーチマネージャーである登坂 恒夫 は述べています。

今回の発表はIDCが発行した[国内クラウドセキュリティ市場予測、2018年～2022年](#)にその詳細が報告されています。本レポートでは国内クラウドセキュリティ市場を機能別に、クラウドシングルサインオンとクラウドセキュリティゲートウェイ、その他クラウドセキュリティに分けて、2017年の市場規模（売上額ベース）の実績の分析と2018年～2022年の予測を提供しています。

#### < 参考資料 >

国内クラウドセキュリティ市場 機能セグメント別 売上額予測、2016年～2022年

Figure 1



Source: IDC Japan, 11/2018

## About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com).

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

## For more information contact:

jp-Press Japan  
 jp-press@idc-japan.co.jp  
 +81-3-3556-4768